

地対協コーナー

平成28年は広島カープがセ・リーグ優勝という快挙を成し遂げ、広島県民の皆様におかれては祝いのお酒を飲む機会が多かったのではないかと思います。

アルコールはわれわれの日常生活に潤いを与える存在として浸透していますが、一方で、依存性や致酔性を持つ嗜好品でもあり、飲酒の仕方によっては健康への影響やさまざまな事件、事故などを引き起こすことがあります。

国は、アルコールによる健康障害ならびに関連問題の解決に資するためアルコール健康障害対策基本法を施行し、本県でも広島県アルコール健康障害対策推進計画の策定に向けた検討が進められていますが、地対協でも、今回ご報告するWGにて、医療の側面から計画づくりに携わっています。

本号では、9月に行われた会議の概要をお知らせいたします。

皆さまのご要望やご意見などがございましたら、遠慮なく、事務局までお寄せください。また、過去の委員会活動などは、地対協ホームページ (<http://www.citaikyo.jp/>) へ掲載していますので、アクセスをお待ちしております。

○広島県アルコール健康障害対策推進計画検討WG

日時：平成28年9月7日(水) 19時00分

場所：広島県医師会館501会議室

WG長：加賀谷 有行

「広島県アルコール健康障害対策推進計画(仮称)」における医療関係の計画策定にあたり、各委員のアルコール健康障害対策に関する取組を共有するとともに、計画で取り組むべき課題などについて意見照会を行った。

報告・協議事項

(1) 広島県アルコール健康障害対策推進計画(仮称)の策定について

「広島県アルコール健康障害対策推進計画(仮称)」の策定にあたり、計画の医療関係の部分については精神疾患専門委員会内に本WGを設置し、「かかりつけ医のアルコール依存症に係る正しい知識の促進方策」、「かかりつけ医から専門医療機関への連携方策」の大きく2点について検討する方針と今後の検討スケジュールを確認した。

(2) 広島県アルコール健康障害対策推進計画(仮称)の骨子案について

広島県より、骨子案について説明があった。骨子案は、県の現状や課題を踏まえ、「飲酒に伴うリスクに関する知識の普及」「適切な支援につながる仕組みの構築」「相談から治療、回復支援に至る切れ目のない支援体制の整備」が重点施策として示されている。また、目標設定として、アルコール健康障害に関する相談支援体制の充

実と支援の中核となる専門医療機関の整備について、WGで検討を進める予定とした。

(3) アルコール健康障害対策の取り組みについて意見交換

委員からは、依存症の疑いのある患者の早期発見や専門医療機関へつなげやすくするため、フォーマットなどを作成し共通の評価ができるようにすることや、かかりつけ医、精神科医のアルコール健康障害に関する知識の共有や理解を深めるための研修の実施について提案があった。

また、専門医療機関での治療終了後、地域で支援する体制の構築を求める意見や一般県民へアルコールがあらゆる病気につながる可能性のある点を啓発すべきといった意見、さらには計画中の文言表記として「依存症」ではなく「使用障害」とするなど工夫も必要なのではないかとの意見もあった。

○健康危機管理対策専門委員会 第1回予防接種WG

日時：平成28年9月8日(木) 19時30分

場所：広島県医師会館502会議室

WG長：渡邊 弘司

広島県統一の定期予防接種における接種率を算出するため、「推奨算定式」を用いた、「平成27年度 市町別接種率」を確認し、今後の対策について協議した。また、10月より定期接種化されるB型肝炎ワクチンや接種過誤防止への対応についても協議した。

報告・協議事項**(1) 平成27年度定期予防接種の接種率の調査結果と活用方法について**

定期予防接種の接種率の算定方法が市町間で統一されていない現状を鑑み、昨年度、県内統一の算定式を作成した。この算定式を用い調査した平成27年度の予防接種の接種率について確認し、日本脳炎、水痘、2種混合2期の3ワクチンについては、接種勧奨方法などを再度調査することとなった。

また各市町へは、全市町中の最高・最低接種率と県平均の接種率に自市町の接種率を記し情報を還元することとした。

(2) その他(B型肝炎ワクチンの定期接種化について)

平成28年10月から新たに定期接種化されるB型肝炎ワクチン(0歳児対象)における問題点として、①厚生労働省作成の啓発チラシの活用状況、②同チラシの「予防接種を受けても免疫ができないことがある」との記載の根拠が不明なこと、③B型肝炎という疾病の特殊性(慢性肝炎となると完治しないことなど)、また被接種者に免疫がつかずB型肝炎を発症した場合の訴訟リスクなどが医師側に十分に周知されていないこと、④ワクチン不足の恐れがあること、⑤接種対象期間が短く接種漏れが懸念されることなどが挙げられた。

広島県小児科医会から選出の委員より、県外での定期予防接種における市町の補助状況に関する調査結果について情報提供があった。広島県医師会として「予防接種における医療過誤や裁判事例」や、「予防接種の基本的な手技」などをテーマとした研修会の開催を行ってはどうかとの提案があった。

○医薬品の適正使用検討特別委員会

日時：平成28年9月9日(金) 19時00分

場所：広島県医師会館501会議室

委員長：松尾 裕彰

今年度は医療・介護従事者を対象に健康食品に係る健康被害事例などについての実態調査を行うこととし、アンケートの調査項目や県民向けのチラシ・ポスターの作成に向け意見交換した。

報告・協議事項**(1) 平成27年度実施の健康食品の利用・認知度調査結果について**

昨年度実施の県民を対象とした調査結果から、健康食品に関して正しい知識を持たずに利用している県民が少なからずいること、健康食品の利用が服薬治療行動に影響することなどが実態として浮き彫りとなった。県民が健康食品を正しく利用できるよう関係職種・機関の連携と正しい知識の普及啓発が必要であるとの報告があった。

(2) 平成28年度事業計画について

医療・介護従事者を対象とした健康食品に関するアンケート調査を実施し、業務中に遭遇する健康食品に係る健康被害事例など問題点を把握し、医療・介護従事者が講ずべき対策などについて検討することとした。

具体的には、医師、歯科医師、薬剤師、看護師(訪問看護ステーション)、介護従事者(地域包括支援センター、居宅介護支援事業所)に対し、健康食品に係る健康被害の診療経験の有無や、患者からの相談応需の有無、他職種への情報提供の有無などについて調査を行うこととする。

また、昨年度の県民実態調査を踏まえ、健康食品に関する正しい知識の普及啓発に向け、健康食品の注意点やお薬手帳の活用について記載したチラシ・ポスターを作成し、主に薬局等に配布することとした。

○健康危機管理対策専門委員会・広島県医師会感染症対策委員会合同委員会

日時：平成28年9月12日(月) 19時30分

場所：広島県医師会館301会議室

委員長：桑原 正雄

両委員会での取り組みや現在検討中の事業などについて紹介し、情報共有を図った。広島県感染対策支援ネットワーク(仮称)の構築や、蚊媒介感染症リーフレットの作成、薬剤耐性菌対策、予防接種WGの活動状況等について報告・協議した。

報告・協議事項**(1) 広島県医師会感染症対策委員会の取り組みについて**

県医師会より拡充した「感染症対策相談窓口」の運営状況と市郡地区医師会単位での構築を進

めている「広島県感染症対策支援ネットワーク(仮称)」の進捗状況などについて報告した。

また、今年度の取り組みとして、感染症の流行時や感染症に係る行事などにあわせ、会員向けに「広島県感染症だより」の発行を予定している旨報告した。

(2) 健康危機管理対策専門委員会の取り組みについて

全市町(県立学校)で導入された「学校欠席者情報収集システム」の普及状況を確認後、システムを運営している日本学校保健会と調整の上、医師会員用の共通ID・パスワードを入手した旨報告があった。(以下、参照) 随時、公立学校、私立学校、保育園などへ導入を働きかけることとした。

また、ダニ類媒介感染症リーフレットが好評であることから、近年問題の蚊媒介感染症について、広島県の発生状況や治療、予防、確定診断の方法などをまとめたリーフレットの作成状況を報告した。

国の「薬剤耐性(AMR)対策アクションプラン」では、2020年までにヒト抗微生物剤の使用量や薬剤耐性率等の削減目標が掲げられ、抗微生物剤使用の動向調査や適正使用などの方針が示されていることから、国の動向を踏まえ、本委員会の取り組み方針を検討する予定である旨報告した。

感染症情報収集システム 広島県医師会会員用共通ID、パスワード

※各日の欠席者等の状況が、症状・疾患別に、中学校区・市町・都道府県単位で、地図・グラフ・表の形式で閲覧いただけます。

※会員以外への譲渡・ご利用はお控えください。

○脳卒中連携パスWG・脳卒中連携パス回復期以降検討WG合同WG

日時：平成28年9月26日(月) 19時00分

場所：広島県医師会館302会議室

WG長：栗栖 薫

広島県共通脳卒中連携パスについて、前回WGでの意見を盛り込んだパス(案)について説明後、各項目について協議した。

見直しに向けた意見として、「日常評価の点数が必要ではないか」といった意見や改定後の運用や普及啓発に向けた意見として、説明会の開催を求める声があった。最終的には10月26日(水)合同WGにて再度協議することとなった。

県地对協からの提供資料について

県地对協では以下の県内共通クリティカルパス、パンフレット、マニュアル等を作成しています。ご入り用の際は下記事務局までご連絡ください。

【地域連携クリティカルパス】

- 乳がん患者さんのための「わたしの手帳 Ver.4」
- 肺がん術後患者用「わたしの手帳 Ver.2」
- 心筋梗塞・心不全 手帳 地域連携パス
- C型肝炎「わたしの手帳」 など

【パンフレット・マニュアル】

- 広島県のつづが虫病と日本紅斑熱について
- 予防接種の普及を目指して
- 医療従事者等における体液曝露事故後のHIV感染防止マニュアル
- ACPの手引 「豊かな人生と共に…」
- [海外で気をつける蚊媒介感染症 デング熱、ジカウイルス感染症(ジカ熱)、チクングニア熱、マラリア]

【報告書】

- 新型インフルエンザに関するアンケート調査報告書

【事務局】 広島県医師会地域医療課 電話：082-568-1511 Eメール：citaiky@hiroshima.med.or.jp



乳がん患者さんのための「わたしの手帳 Ver.4」



肺がん術後患者用「わたしの手帳 Ver.2」



心筋梗塞・心不全 手帳 地域連携パス



広島県内のダニ媒介感染症 つづが虫病、日本紅斑熱、重篤熱性血小板減少症(SFTS)



予防接種の普及を目指して



医療従事者等における体液曝露事故後のHIV感染防止マニュアル



新型インフルエンザに関するアンケート調査報告書



ACPの手引 豊かな人生をと共に…



C型肝炎「わたしの手帳」



[海外で気をつける蚊媒介感染症 デング熱、ジカウイルス感染症(ジカ熱)、チクングニア熱、マラリア]

※一部ホームページにて公開中

広島県 地对協 検索

など